

第3次中期経営方針

2020年Vision G4-20「持続的な成長と進化」へ

ジーテクトは従来より2020年ビジョンとして『G4-20』を掲げ、融合の促進や競争力ある物造り体質の構築を進めて参りましたが、今回、ジーテクト第3次中期を迎えるにあたり「Genba」「Global」「Grow up」「Green」の4つの領域の進化を、加速度的に進める為の「3つの分野におけるイノベーション」と普遍的な目標である「持続的な成長と進化」を追加いたしました。

また、昨年特定しましたマテリアリティに対して、これまで取り組んで参りました「コーポレートガバナンスの強化」は引き続きグローバルで継続すると共に、その他のマテリアリティに関しましても、各分野のイノベーションをもって対応を図ってまいります。



3つの分野におけるイノベーション

技術イノベーション

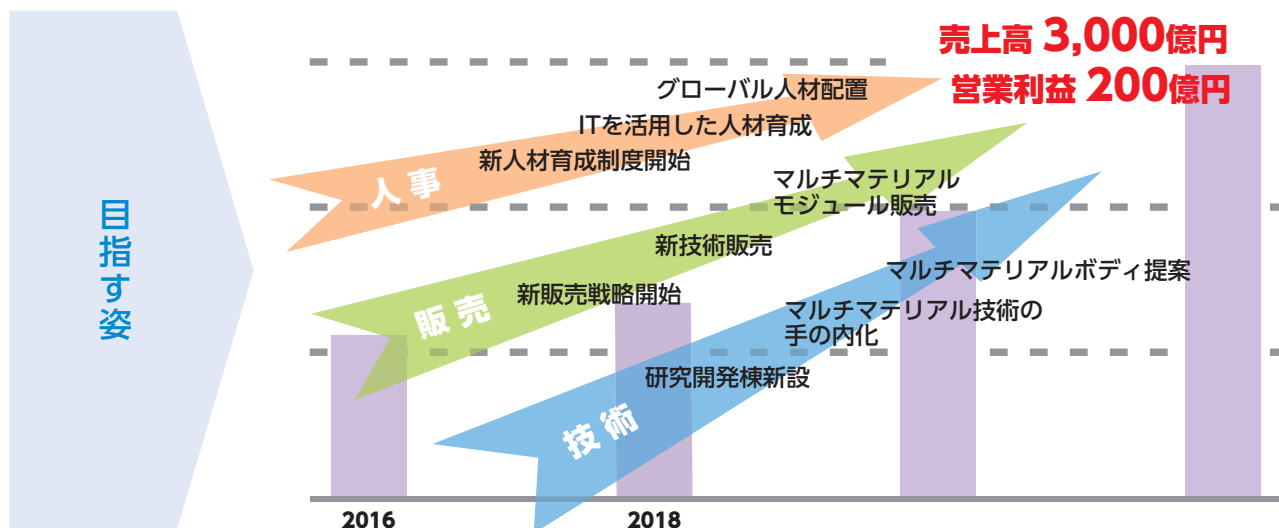
マルチマテリアルボディ技術などの先進技術開発や、そのグローバル展開の為の中心的な役割拠点として『GTL(ジーテクト東京ラボ)』を新設。GTLでは、環境に配慮した製品開発を念頭に、革新的な新技術をもって拡販に繋げ、環境に、人に優しい製品造りに取り組みます。

販売イノベーション

従来の日本と各拠点の営業部隊を基本とした日本中心の営業スタイルから一線を画し、本社で販売戦略を立案し、各地域本部が連携する事により、地域と地域をつなぐグローバル規模の販売新体制を構築。日系メーカーだけでなく、各グローバルカーメーカーへの技術的ニーズと地域的ニーズに応じていきます。

人事イノベーション

新人事制度では、年功制を廃止し、より一層厳格な昇格審査や業績評価を取入れました。新人材育成制度では、将来のキャリアプランを見据え、新入社員研修時から全てのカリキュラムを見直し致しました。この2つの制度とそれを支援するデジタルツールを活用し、「グローバル経営人材」及び「次世代経営陣」の育成に力を入れてまいります。



◀ 「GTL(ジーテクト東京ラボ)」新設



<完成予想図>

所在地：東京都羽村市 完成時期：2018年3月

コンセプト

- 新たな研究環境で、技術イノベーションを加速
- 魅力ある研究環境で、新たな発想を持つ人材の確保

自動車部品メーカーからボディメーカーへ

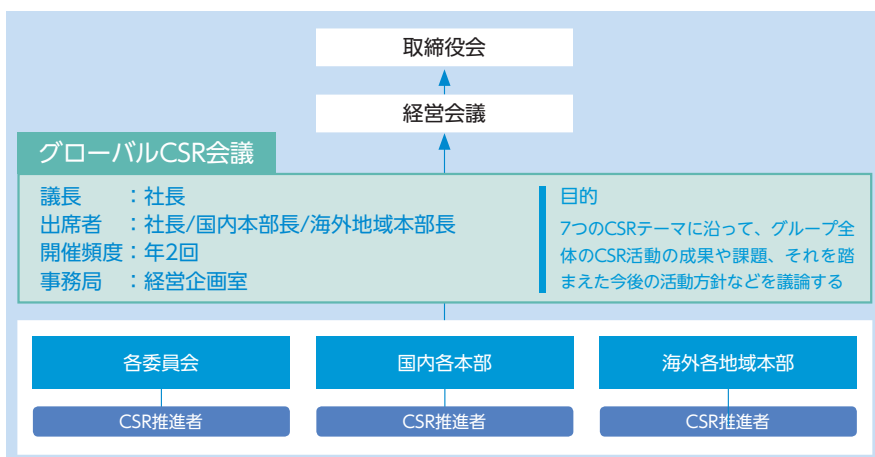
充実した研究施設でジーテクトの開発力を飛躍的に高めます。新設されるGTLでは、革新的な新技術開発はもちろんのこと、ボディ1台解析技術に磨きを掛け、ジーテクトの考える軽量高剛性ボディを具現化してまいります。

これにより、ジーテクトはボディ1台提案が出来る“ボディメーカー”へ進化します。

◀ CSR活動の強化

CSR体制強化

体系的なCSR活動を目指して、ジーテクトはCSR体制を見直しました。本社経営企画室にCSR事務局機能を設けると共に、国内の各委員会・各部門及び海外の各拠点にCSR推進者を置くことで、経営層から発信される活動方針を全社展開出来る体制と致しました。全ての従業員がCSRへの理解を深めることで、積極的なCSR活動に繋がります。



グローバルCSR会議

CSR活動強化の一環として、今期よりグローバルCSR会議を開催(年2回)。社長を議長とし、海外の地域本部長も参加するグローバルCSR会議では、グループ全体の様々な活動内容の確認や課題の共有を通じて、今後の方針や取り組みを討議してまいります。持続可能な社会の実現に向けて、ジーテクトでは経営層が率先してCSR活動に参加しています。

従業員の



VOICE



女性活躍に向けたCSR活動

経営企画室 大久保 育美

1年間の工場実習を経て、4月より経営企画室に配属され、社会人2年目を迎えました。工場から本社に移り、勝手が異なるため戸惑うことも多く、日々勉強しています。人生においてもまだまだ勉強が必要な身である為、仕事と私生活の両立に向けても奮闘中です。当社は自動車部品メーカーという事もあり、女性の比率が少ない傾向となっています。そんな中でも先輩女性社員は、結婚・出産・子育てと様々な人生の局面と向き合いながらキャリアを築いています。私自身、先輩方のようなモデルケースとなれる様、努力し、そして、CSR活動を通して、女性がより働きやすい職場づくりを目指したいと思います。

北米地域の社会貢献活動

ジーテクトグループでは、持続的な成長と進化を目指し、地域との交流や社会貢献活動を通じて、企業の社会的責任を果たしてまいりたいと考えています。

今回は、海外の社会貢献活動の中から北米地域のG-NAC、JIC、JEC、JSCにスポットを当て、様々な活動を紹介します。



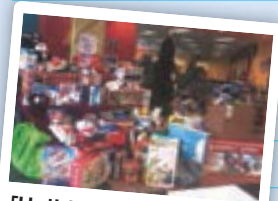
私は、G-NAC(当社)が行う地域貢献活動をととても誇りに思っています。

G-NACでは体の不自由な方やお年寄り等の方々に対して、温かい食事を宅配する「ミールズ・オン・ホイールズ」活動を行っています。また、「オペレーション・バックパック」活動では、子供達の学校生活がスムーズにスタートするよう学校用品を寄付しました。「ブランチアウト」活動と言う、地域の植林イベントにも参加しています。

私達はこれからも様々な地域貢献活動を実施して行きたいと思えます。

次に私達が行っている活動の一部を紹介します。

G-NAC 人事部 マネージャー **Tami Grywalski**



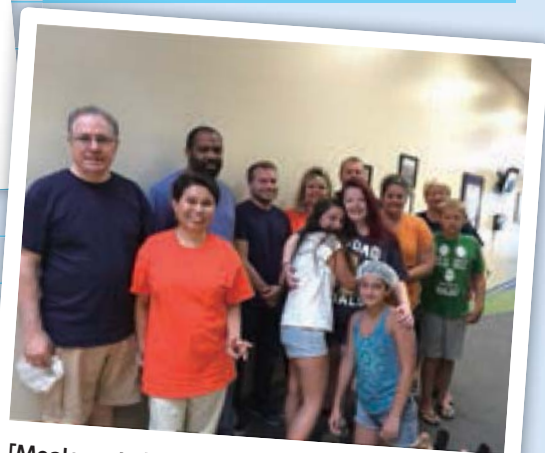
「Holiday Wish」

2016年11月
このイベントはクリスマスの贈り物として、子供達へおもちゃを提供しました。



「Red Nose Event」

2016年5月
貧しい子供達を支援する活動に参加。



「Meals on Wheels」

2016年6月、8月
体の不自由な高齢者や障害者の方々に対し、食事を準備し提供しました。



「Operation Backpack」

2016年7月
子供達を支援する活動です。G-NACで16個のバックパックを寄付。子供達は新しい学校生活をスタートしました。



「Dublin Irish Parade」

2017年3月
市で行われるパレードに毎年参加をし、地域との交流をしています。



「Branch Out Columbus」

2016年10月
コロンバス周辺のコミュニティに木を植えるといった活動をサポートしました。



Relay for Life Walking

2016年6月
アメリカ癌協会マディソン郡支部主催のチャリティーウォークへ参加。癌患者や介護者の方々の功績を称えとともに癌撲滅を願い、JIC従業員有志が午後6時より翌日午前1時まで、West Jefferson高校を歩きました。また、アメリカ癌協会へ寄付するために募金活動を実施しました。



Canned Food Drive

2016年11月
Thanksgiving(感謝祭)の祝日を迎えるにあたり、社内部門間の缶詰競合イベントを行い、食料缶を集め地元の食品支給センターに寄付をしました。



Blood Drive

毎年2回
社内に会場を設け、従業員からの献血を実施しています。

※その他、地元行政・警察・学校へのサポートとして寄付活動を行っております。



Charity Raffle for Chance to Win a set of tickets

2016年6月
有名アーティストのコンサートチケットを購入し寄付を募って参加者の中から抽選でチケットが当たるといものです。集まった寄付金は地域に建設される総合病院へ寄付しました。



健康週間

2016年6月
ヨガを行ったり、従業員とともに健康について考えます。



※その他、地域清掃活動や様々な団体へ「Matching Gift」を行っております。
また、夏休みの期間を利用して、学生を臨時的に雇入れ、就労場所を提供しています。
Matching Gift ; 非営利団体へ従業員が寄付をした金額の半額を会社が同団体へ寄付をする。(上限あり)

Donation-Sock Program

通年
靴下を忘れてきた従業員に靴下を販売し、集まった金額を肝臓病基金に寄付をしています。

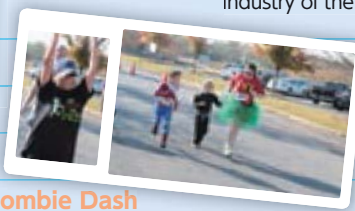


Angel Tree Project

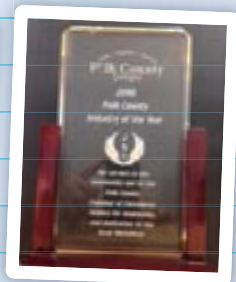
2016年12月
小学校と協力し、子供たちにクリスマスプレゼントを準備・寄付をする"天使"になる活動を行いました。"天使"になることで子供たちにたくさんのプレゼントを届けることができ、地元新聞にも取り上げられました。

5km Zombie Dash

2016年11月
子供からお年寄りまで、地域住民と一体になり非常に盛り上がったイベントとなり、集まった寄付金は地元施設のアスレチック補修に使われました。



地元の工業団体より、地域住民の雇用確保や地域貢献活動を評価され「Polk County Industry of the Year」を受賞しました。



※その他、地元学校や高校での奨学金制度へ寄付活動を行っております。